

計画改定素案への意見聴取、協議結果の概要について

1 意見聴取、協議結果の概要

(1) パブリックコメント

- ① 意見募集期間：令和6年9月11日(水)～10月11日(金)
- ② パブリックコメントに寄せられた意見：7者(6名1団体)71件

(2) その他の利害関係者からの意見聴取等結果

- ① 利害関係人からの意見聴取：2団体18件
- ② 市町村協議：14市町村63件

2 意見聴取、協議で寄せられた主な意見等

(1) エゾシカの影響についての考慮

エゾシカ増加に伴い、ヒグマの食性や行動に変化が見られることから、それを踏まえた対策の検討や、捕獲従事者や専門家育成も、シカ対策と併せて実施すべきといった意見があった。

(2) 問題個体管理の認識

第2期当初から引き続き行うこととしている問題個体の管理に対し、個体数管理を前面に打ち出すべきといった意見がある一方、捕獲目標の設定に否定的な意見も見られた。

(3) ゾーニング管理の進め方

道と市町村の役割分担や、ゾーニング管理を行う意義などについて、主に市町村からの意見や疑義に、わかりづらさから生じたと思われるものが見られた。

(4) モニタリングの進め方

モニタリングの調査項目や調査手法などに関する疑義や意見のほか、市町村から調査結果のフィードバックを求める意見があった。

(5) 実施体制の考え方

実施体制については、市町村の枠を超えた広域対応の必要性や、それを担う専門的人材の民間事業者の活用などについて意見があった。また、市町村計画との連携にあたり、道計画との具体的なつながりを明示することについての意見があった。

これらの意見について、現在、計画への反映の可否や意見に対する道の見解を整理中。

その他、誤表記や表記ブレ等、文言の修正に関する意見についても併せて対応し、今後、計画の改定(案)を作成。